【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： CRC-144

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん	CapeIRI ± Bv （XELIRI±Bv）	21日間	規定なし	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	中	Chin J Cancer 35: 102-109, 2016

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	アバスチン 生理食塩液	7.5mg/kg 100mL	点滴静注	初回 90分 2回目 60分 3回目～ 30分	↓																				
②	デキサート アロキシ 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓																				
③	イリノテカン 生理食塩液	200mg/㎡ 500mL	点滴静注	60分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	カペシタビン	1600mg/㎡/日	内服	1日2回に分けて朝夕食後	↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓						

＜注意事項/備考＞

- ✓ Cape投与量：BSA≦1.30㎡：1800mg/day、1.31≦BSA≦1.68㎡：2400mg/day、1.69≦BSA≦2.06㎡：3000mg/day、BSA≧2.07㎡：3600mg/day
- ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）
- ✓ Cape：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
- ✓ HFS（Cape）：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
- ✓ CPT-11：UGT1A1 *6ホモ、*28ホモ、*6*28ダブルヘテロの場合は、CPT-11は150mg/㎡で投与
- ✓ Bv：出血、創傷治癒遅延あり、原則として術後4週間は投与せず / 血圧上昇（高血圧）に注意（自宅での定期的な測定・記録を）
- ✓ Bv：初回90分、2回目60分、3回目以降30分かけて投与